

大野市教育理念

明倫の心を重んじ
育てよう大野人

【学校教育目標】

協同的で探究的な学びによって
自らを高めていく子を育てよう

校訓

愛・誠・健

めざす児童像

- ★他の意見を聴いて、協同的な学びを楽しみ、その意義（成果）や自分の高まり（成長）を実感できる児童
- ★課題に挑戦し、最後までねばり強く取り組む児童

学校を楽校に
児童も教職員も通いたくなる学校

めざす教師像

- ★協同的で深まりのある教育活動の実現をめざし、「挑戦」と「協働」に取り組む教師
- ★児童の育ちに喜びを感じる教師
- ★敬愛され信頼される教師

【研究主題】『つなぐ』学び フリートークで つなげる 広げる 深める

<授業>

- 協同的な学びにより、誰もが安心して学ぶことができ、一人一人の学びが保障されている。
- 児童が「自分たちの授業をつくる」意識を持って、よりよい協同的な学びを教職員とともに実現させる。
- 教師は児童の学びを支援するファシリテーターに徹し、常にベストな役割を追求する。

【具体的な取組】 下庄スタイル

- 授業は、児童がフリートークでつなげて広げて深める主体的な対話を基本形態とする。
 - 単元は、一人学びと全体での共有を往復する構成とし、児童が問いを持ち続ける課題を設定する。
 - 教師はファシリテーターであり、正しい見取りに基づいて機をとらえた切り返しや問い返しをする。
 - 教師は個と全体を的確に見取り、協同的な学びによって個別最適な学びを実現する。
 - 授業研究会では、児童の学びの事実（姿や育ち）を振り返る。（3つのカンを磨く）
- ※各教科の関連する単元の中で、SDGsを積極的に取り上げる。

- 授業に主体的に取り組んでいる児童 90%
- 協同的な学びができた児童 90%

フリートークを活用した協同的な学びの追究

<集団づくり>

- 心のそろった規律ある集団で、自治の力がある。
- 認め合い・高め合いながら協同的に学び、個が育つ。

児童会活動 学年経営

【具体的な取組】

- 下庄マナー（規律・自治）
- 「みんなでそろえる！心がそろろう！下庄っ子」共通行動の徹底
- ニコリペコリあいさつ 会釈 返事 おくドン 全力○○
- 集会活動は学級や学年を超えた学び合いの場
- 対話⇄自己実現・実践

- あいさつができた児童 90%
- 集団活動の中で伝え合いができた児童 80%

<心と体の健康>

- 自他の生命や人権を尊重する心と態度を育てる。
- 協同的に問題を解決することで、一人一人に自信が生まれ、突破力が育つ。

【具体的な取組】

- 下庄ライフ（体育・いのちの学び）
- 心身の健康の保持増進 睡眠を大切にす下庄っ子
- 体力と気力、忍耐力と自制心の向上 全力○○
- 「しょうちゃんは元気？」
- 人権意識

- 学校が楽しい児童 90%
- みんなで何かをするのは楽しい児童 85%

<家庭・地域と共に歩み、育つ学校 信頼、応援される学校>

【具体的な取組】

- 学校公開や「たより」等を通して、学校と家庭・地域との共通理解を図る。また、SDGsの普及にも貢献する。
- 定期的に行う各種チェック表を通して、家庭学習や生活習慣（情報モラル含）の定着を図る。
- 週末読書やファミリー読書など、家庭での読書を推進する。
- あいさつ運動などで下庄地区・乾側地区へ貢献する。

- 学校と共通理解のもと子どもを育てている家庭 90%
- 家庭で週末などに読書をしている児童 80%

<職場としての学校> 個々の持ち味や意識で前向きな風が流れ、正のスパイラルで共創性が高まる職場

- 各担当別の引き継ぎ書を活かした段取り力の伸長
- タテの連携・ヨコの連携で迅速かつ効果的な業務
- 教科担任制で専門性のある質の高い授業
- 業務と研修を分別した自律的タイムマネジメント

- 平均時間外在校等時間 40 時間以内